

2019年4月8日

1台の8Kカメラを4台のHDカメラとして運用可能

8K映像から最大4枠のHD映像を切り出す8K ROIカメラシステムを開発 ライブイベント収録、スポーツ中継のオペレーションを効率化・省力化



2019年4月 パナソニック株式会社

品名	8Kマルチパースカメラ	イメージプロセッシングユニット	ソフトウェアキー
品番	AK-SHB800GJ	AK-SHU800	AK-SFC101G

パナソニック株式会社は、高精細の8Kカメラを用いてライブ収録やスポーツ中継を効率化・省力化する8K ROI (Region of Interest) カメラシステムを開発しました。2019年7月の発売を予定しています※1。

8KマルチパースカメラAK-SHB800GJは、8KフルサイズCMOSイメージセンサーを搭載し、EFレンズマウントを採用した小型軽量のボックスタイプカメラです。イメージプロセッシングユニットAK-SHU800とフレーミング制御ソフトウェア※2をインストールしたPCとの組み合わせで、8K ROIカメラシステムを構成します。

高精細・広画角の8Kカメラ映像から最大4枠のHD映像を切り出し、それぞれにフレーミング(パン・チルト・ズーム操作)できることにより、1台のカメラで4台のHDカメラとして運用できます。さらに最大8台の8Kマルチパースカメラをシステム接続し、1台のカメラのフレーミング操作に他のカメラのフレーミングを自動追従させることも可能です。周辺部の切り出しにおいても、広角歪み自動補正機能により自然な映像を実現します。

このシステムにより、ライブイベント収録やスポーツ中継などにおいて撮影の効率化と省力化が図れ、設置・移設・輸送コストの削減につながります。また複数カメラの設置によってふさいでいた観客席を生かすことができます。

当社は、8KスーパーハイビジョンレコーダーAJ-ZS0580、8K有機センサーカメラAK-SHB810など8K映像機器の開発と実用化を進めてきました。2020年を見据え、4K/8K機器・システムを開発し、放送・制作の高画質化と効率化をサポートし、放送業界の発展に貢献してまいります。

なお当社は、本開発システムを、2019年4月8日から4月11日まで米国・ラスベガスで開催される「NAB Show」に参考出展します。

※1:受注生産品です。

※2:使用には別売ソフトウェアキーAK-SFC101Gが必要です。

<主な特長>

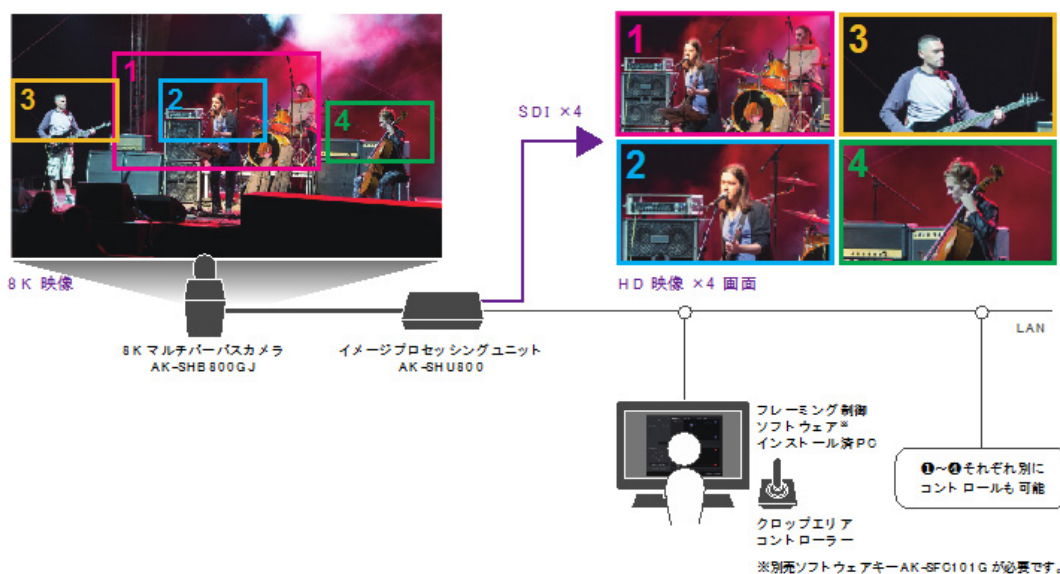
1. 高精細の8Kカメラ映像から最大4枠のHD映像を切り出して運用
2. 複数(最大8台)のカメラのフレーミングを連動させたマルチカメラ運用も可能
3. 広角歪み自動補正機能により、周辺部切出し時の歪みをリアルタイムで補正

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
メディアエンターテインメント事業部 マーケティングセンター マーケティング戦略部
マーケットコミュニケーション課
TEL:06-6905-4640(直通)

1. 高精細の8Kカメラ映像から最大4枠のHD映像を切り出して運用

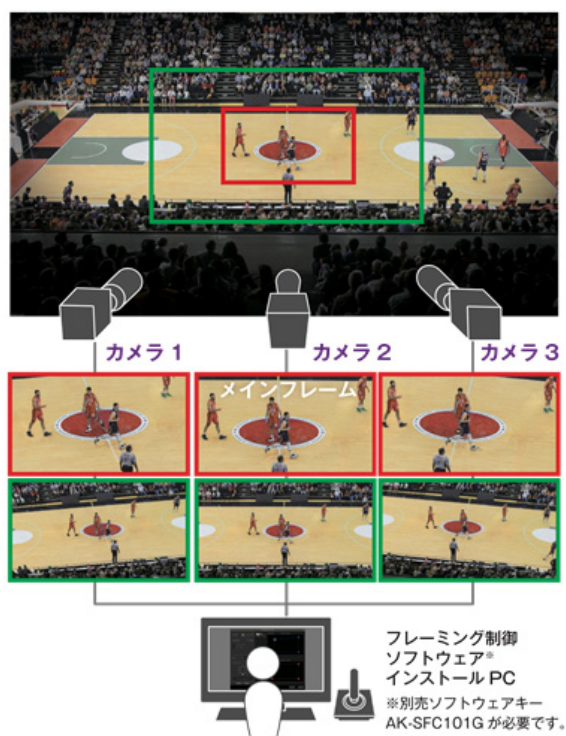
1台の8Kマルチパーパスカメラを固定で設置、高精細・広画角の8K映像に最大4つの枠(クロップエリア)を設定し、それぞれHD映像として切り出し出力します。4つの切り出し映像(下図1~4)のパン・チルト・ズームはそれぞれ個別にコントロール可能です。また、1(ロング)と2(アップ)を連動して操作することも可能です。



※画像はすべて機能を表すためのイメージです。

2. 複数(最大8台)のカメラのフレーミングを連動させたマルチカメラ運用も可能

複数(最大8台)の8Kマルチパーパスカメラをひとつのシステムで運用可能です。右の図は3台の8Kマルチパーパスカメラのアップ/ロング2画面の切出し映像を連携させた場合となります。メインフレームのフレーミング操作(パン・チルト・ズーム)に、6つの切出し映像のフレーミングを連動させることができます。



※画像は機能を表すためのイメージです。

3. 広角歪み自動補正機能により、周辺部切出し時の歪みをリアルタイムで補正

レンズセンターから離れた周辺部を切り出す場合、広角歪みをリアルタイムで自動補正した映像を出力できます。この機能により、カメラをパン・チルトしたような自然な映像が得られます。



※画像は機能を表すためのイメージです。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。